

(4) 令和3年度稲美町空き家実態調査結果について

令和3年度に稲美町自治会長会に委託して実施した空き家の実態調査について、現状のとりまとめ結果について、以下のとおり報告するもの。

1. 空き家実態調査

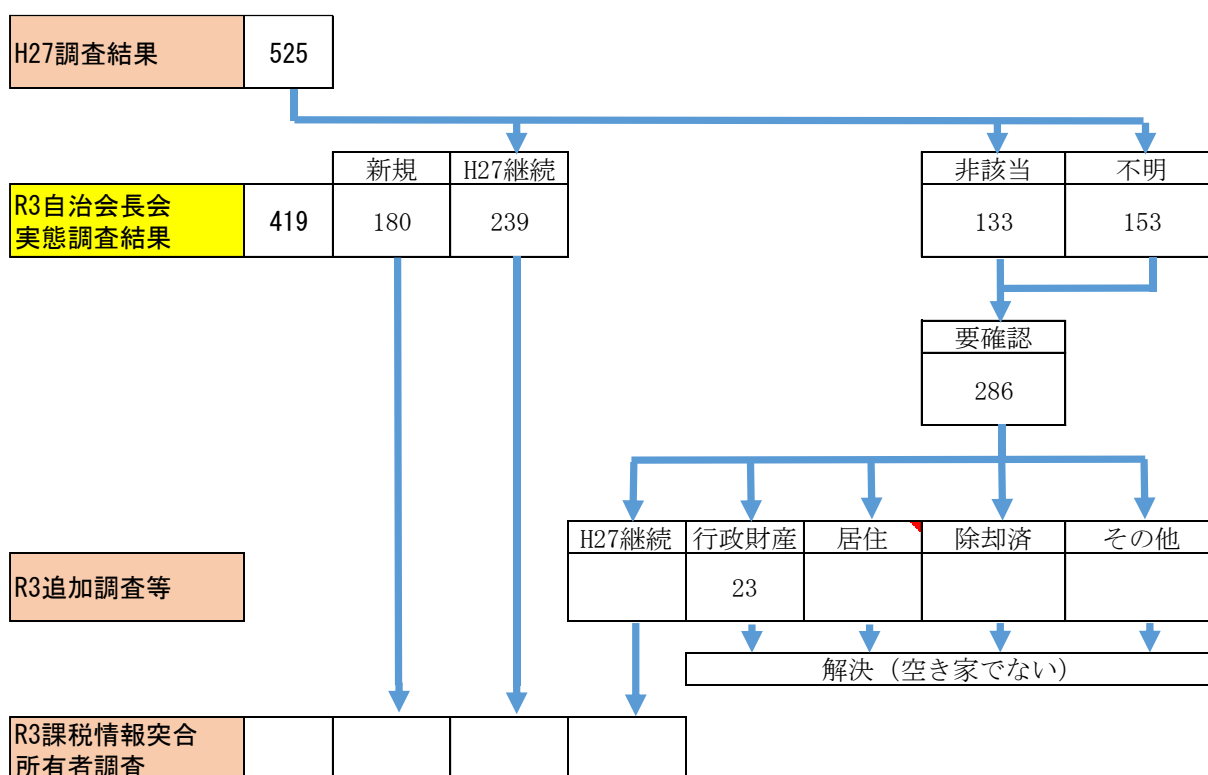
平成27年度の空き家実態調査で確認した525件の空き家の地図データを活用し、稲美町自治会長会に委託して調査を実施。調査期間は令和3年6月9日から7月30日まで。

2. 空き家実態調査結果

① 総数

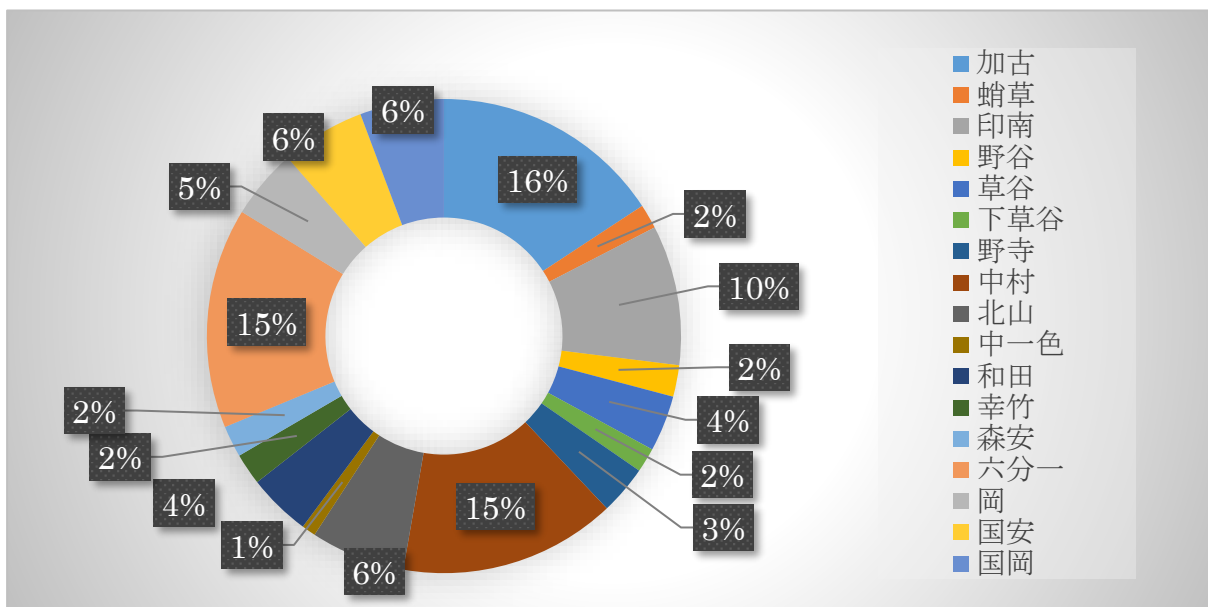
本調査結果は、上記の自治会による実態調査結果419件についての分析を進める。平成27年度から引き続き空き家の状態が継続している物件が239件、新たに空き家となった物件が180件発生している。

なお、平成27年度以降、空き家でなくなった非該当の物件が133件あり、すでに建て替えやリフォームで、新たな入居者が居住されていたり、適正管理のために更地になっているとのことであった。空き家に該当・非該当の分類がなかった153件は状態不明であり、物件の状況等により、引き続き追加の調査を進めることとする。



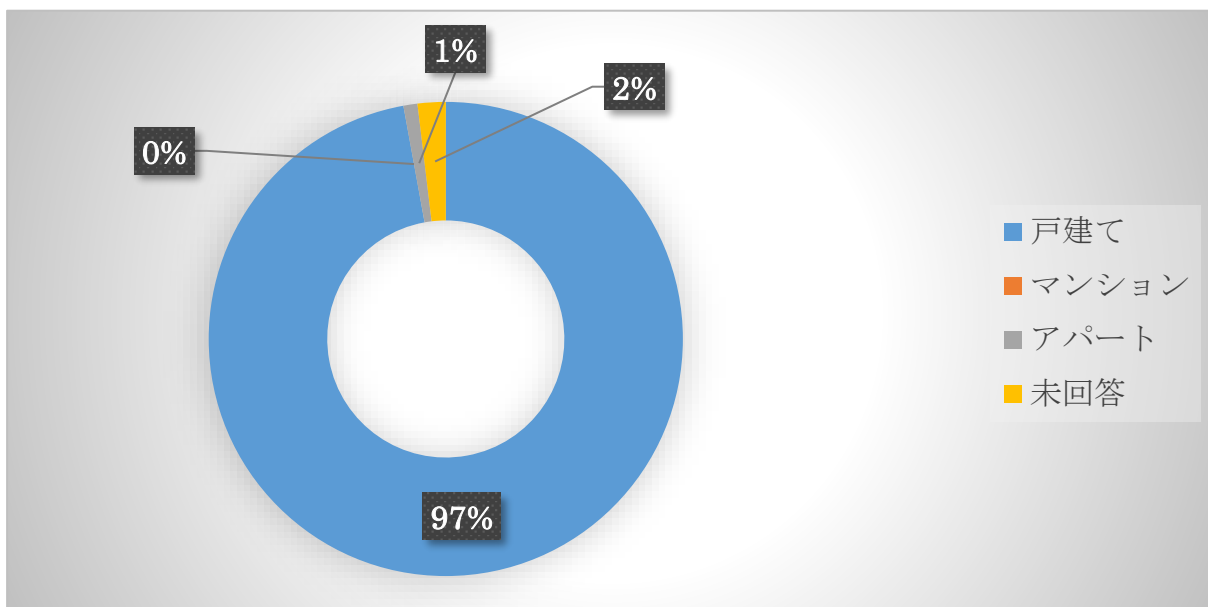
② 大字別

大字別では、「加古」16%、「中村」15%、「六分一」15%の順となっている。地区別で集計すると、加古地区16%、母里地区23%、天満地区62%となっており、平成27年度の調査結果同様、概ね町全域にわたって空き家が点在している。



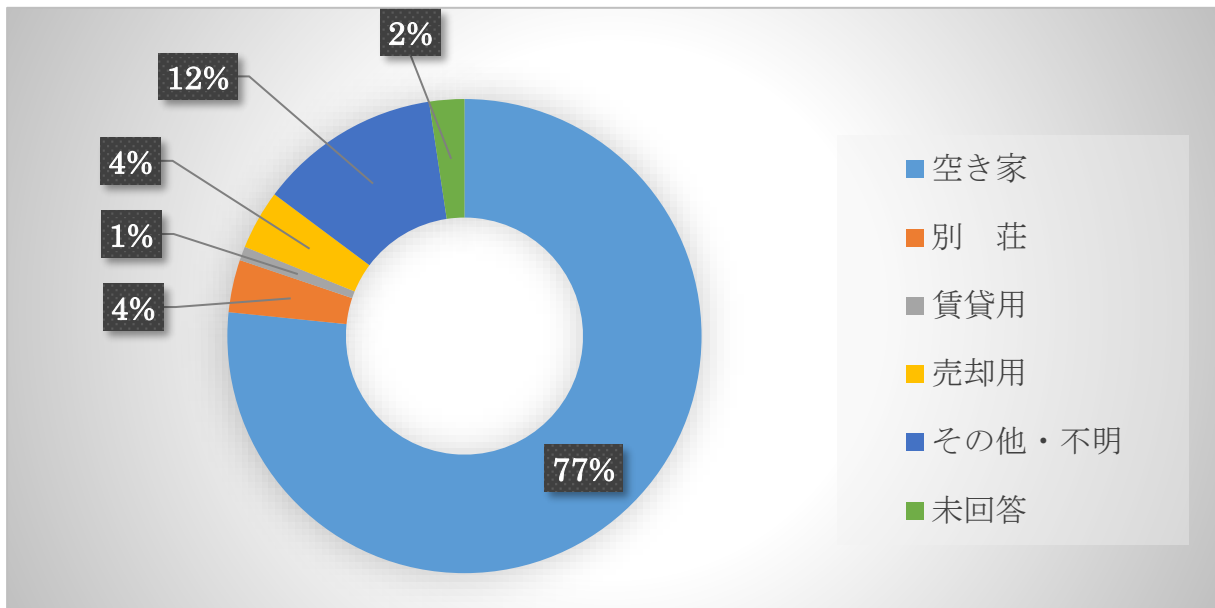
③ 建築状況別

概建築状況については、「戸建て」が97%、「未回答」が2%、「アパート」が1%となっている。



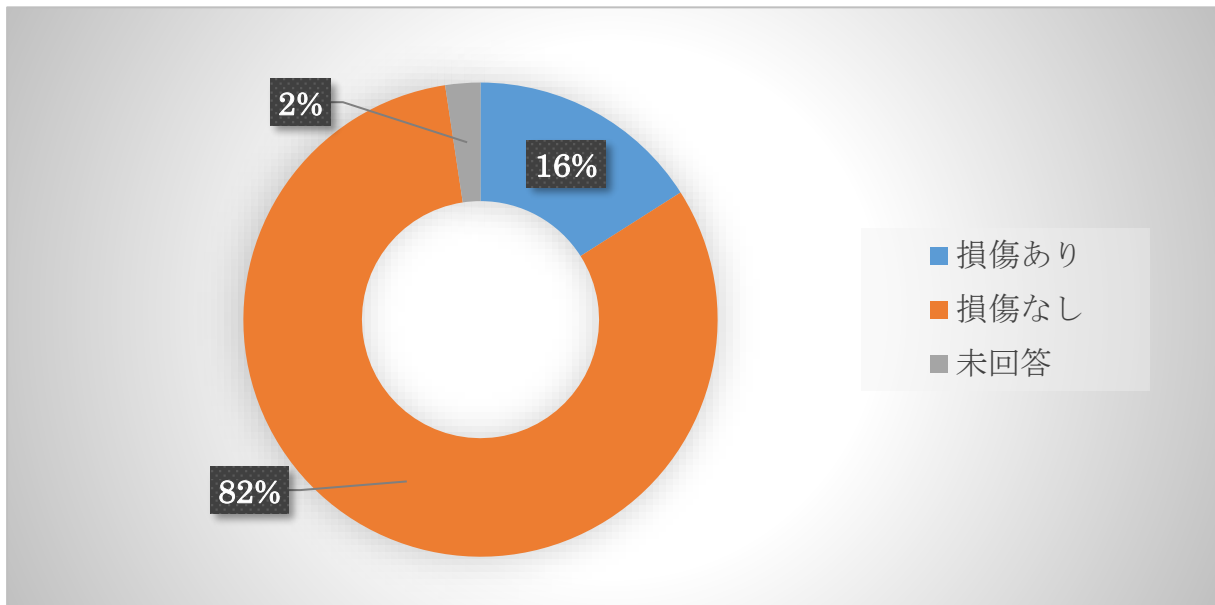
④ 空き家区分別

空き家区分については、「空き家」が77%、「その他・不明」が12%、「別荘」「売却用」が4%ずつとなっている。



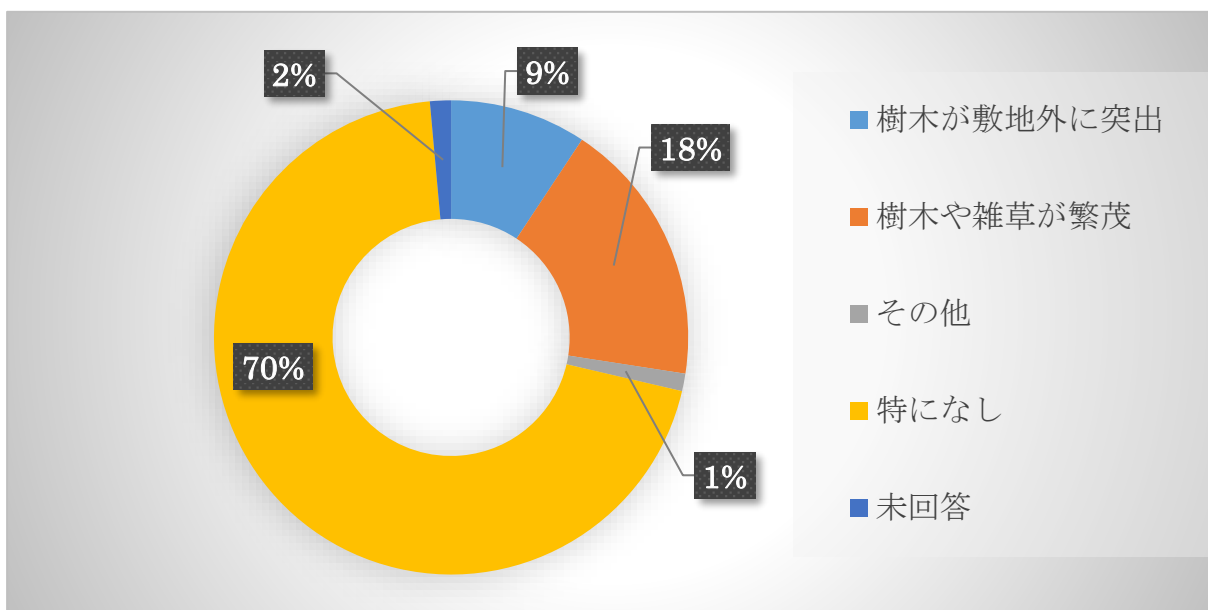
⑤ 損傷状況別

損傷状況については、「損傷なし」が82%、「損傷あり」は16%となっている。



⑥ 樹木の状態別

敷地内における樹木の状態については、「特になし」が70%、「繁茂」している状態が18%、「敷地外に出ている」状態が9%となっている。



⑦ 周辺への影響別

周辺への影響については、「特になし」が91%、「その他」が5%、「ごみの放置や不法投棄が行われている」が2%となっている。

